

このたびは、「アローボイス」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用に際しましては、まず、この取扱説明書を最後までご覧になって、使用上の注意等、十分にご理解頂き、性能が万全に発揮できる状態で末永くご愛用ください。また、いつでもご利用できるよう大切に保管してください。

お願い

出荷に際しては、取扱説明書を含め十分なチェックをして万全を期しておりますが、万一ご使用中にご不審な点やお気づきのことがありましたらお買い上げの販売店か最寄の弊社営業所までご連絡ください。

- 寸法、仕様および構造は、今後改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても弊社はその責任を負いません。あらかじめご了承ください。

概要

☆本機は産業機器の異常報知や作業場の危険警報、業務上の合図、識別および防災等、様々な報知を音声にて行う音声合成警報器です。

目次

- 1: ▲安全にお使いいただくために
- 2: 各部の名称
- 3: 取付方法
- 4: 結線方法
- 5: 使用方法
- 6: タイムチャート
- 7: 音声ROM交換方法
- 8: 定格
- 9: 外観図

1 ▲安全にお使いいただくために

本機のご使用前に以下の「重要注意事項」をよくお読みいただき遵守してください。

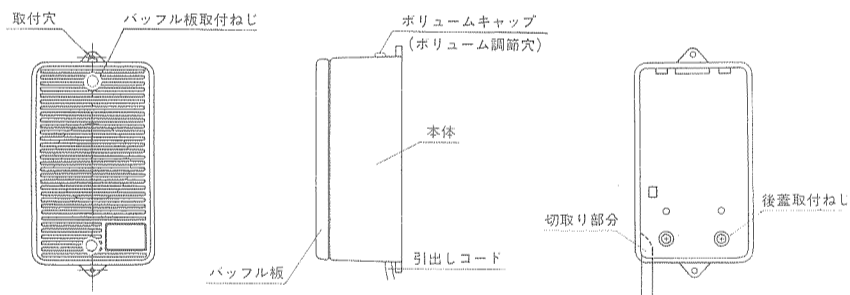
▲注意：感電事故をさけるために

◎感電事故や内部回路破損による故障をさけるため、結線時や電源電圧設定時等は必ず電源を切ってから作業を行なってください。

▲注意：本機の故障をさけるために

◎本機を定格範囲外で使用されますと、故障が起きたり、十分な機能が発揮できないことがありますので、定格表に記載されている範囲内で使用してください。

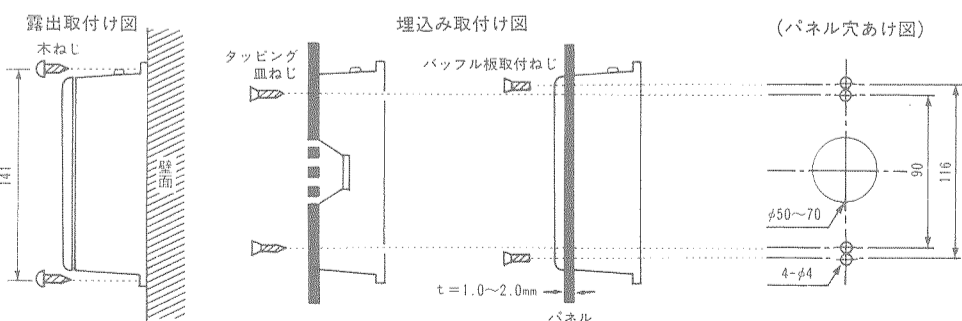
2 各部の名称



3 取付方法

注意

- ◎本機は防滴構造ではありません。漏電事故や故障をさけるため、雨、水等のかかる場所には取付けないでください。
- ◎埋込み取付け時、パネルに本体をタッピングねじで取付ける際に、ねじは本体に10mm以上入らない長さのものをご使用ください。



●露出取付時

- ▽露出取付け図を参照に付属のタッピングねじ、または、太さ3~4mmのなべ頭のねじを使用し、壁面に取付けてください。
- ▽引出しコードは下部へ引出す以外に本体背面の切取り部分を切取り、背面へ引出すこともできます。

●埋込み取付時

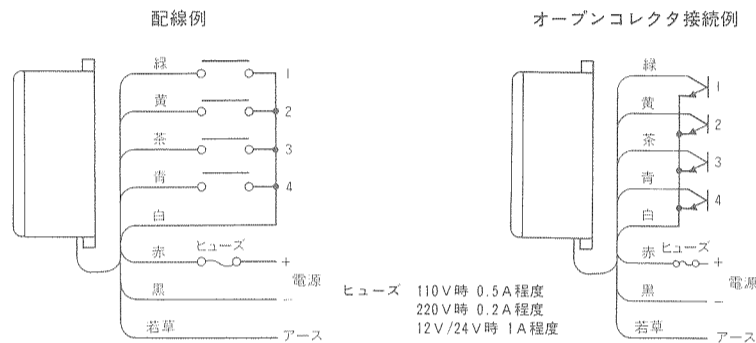
- ▽パネル穴あけ図を参照にまずパネル面の穴加工を行なってください。
- ▽本機のバッフル板取付けねじを外し、前面バッフル板を取外してください。
- ▽埋込み取付け図を参照に太さ3mmのタッピングねじでパネルに本体を取付けてください。
- ▽バッフル板を取付けねじで取付けてください。

4 結線方法

注意

- ◎まず、結線する前に使用電源電圧と本機の電源電圧の設定が一致している事をご確認ください。
- ◎結線する時は電源を切ってください。
- ◎電圧変動の激しい電源（変動率10%を超える電源）やノイズ、サージを多く含む電源（±700V、1μsを超えるもの）でのご使用はさけてください。誤動作や故障の原因となります。
- ◎配線（特に外部接点回路）は、余分な引き廻しや、高圧ケーブル等との併設はさけてください。電磁誘導により、誤動作や故障の原因となります。

- 本機にはヒューズを内蔵しておりませんので、電源は保護用ヒューズを介して供給してください。
- 外部接点回路にはリレーやスイッチ等の無電圧接点回路またはオープンコレクタ回路（シンク型のもの）をご使用ください。（DC24V 10mAをスイッチングできるもの）
- AC/DC12Vまたは24Vタイプにて直流電源でご使用の場合、極性があります。電源の赤線をプラス側、黒線をマイナス側に接続してください。また、この場合、音声起動入力回路の共通側を本機のCOM線（白線）のかわりに電源のマイナス側（黒線）に接続しても使用できます。



5 使用方法

注意

- ◎本機はIC、LSIを使用しているため、電磁波の強い場所での使用はさけてください。誤動作により音が出なくなることがあります。
- ◎電源のON、OFFはチャタリング的に短時間に行わないでください。誤動作の恐れがありますのでOFF後は少なくとも2秒以上後にONになるようにしてください。又、電源電圧が徐々に上昇するような投入はさけてください。誤動作の恐れがあります。

- 本機は電源を投入後、音声起動信号回路が瞬時（100ms以上は必要）ONになれば、ONになったチャンネルの音声を最後まで1回だけ再生し、連続してONになれば音声を繰り返し再生します。（タイムチャート参照）
- 同時に複数のチャンネルの音声起動信号回路がONした場合、ONになったチャンネル番号の内一番若いものを再生します。（タイムチャート参照）（バイナリ仕様を除く）
- バイナリ入力仕様でご注文された場合、各音声起動信号の組合せと再生チャンネルは下図のようになります。尚、各信号間のタイムラグは10ms以下にしてください。

バイナリ入力時の対比表

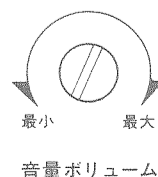
再生チャンネル	待機	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
音声起動信号回路番号	1	○		○		○		○		○		○		○		○
	2		○	○			○	○			○	○			○	○
	3				○	○	○	○					○	○	○	○
	4								○	○	○	○	○	○	○	○

○：ONになった音声起動信号回路

<音量調節>

音量調節は本体上部のボリュームキャップを外し、音量ボリュームにより行います。尚、出荷時には、音量は最大に設定してあります。

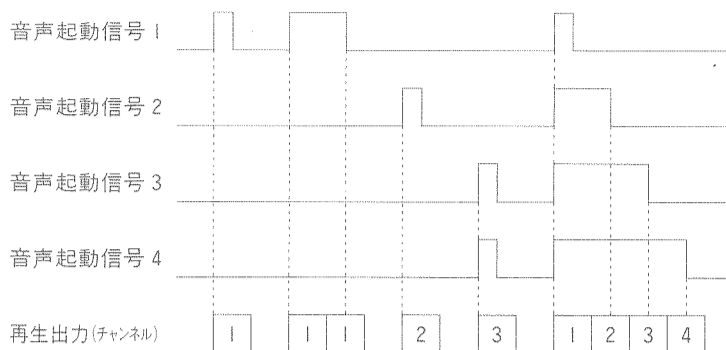
- ▽2項 [各部の名称] を参照に、ボリュームキャップを取外してください。
- ▽音量調節は小型のマイナスインドクタイルにて行い、音量を下げたい時は左へまわしてください。尚、ボリュームは強く押ししたり、無理にまわしたりしないでください。故障の原因となります。
- ▽調節が終わればボリュームキャップを元通りに取付けてください。



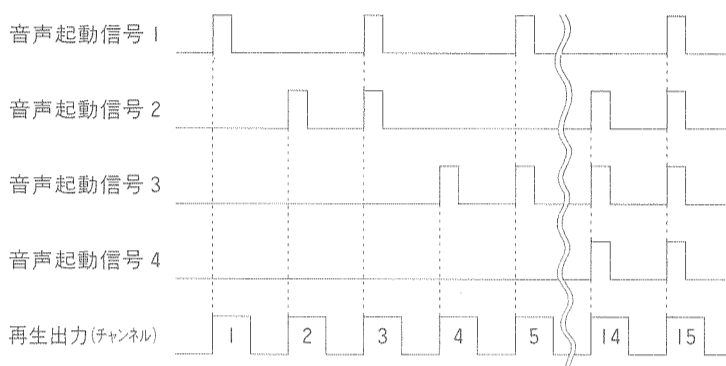
→うら面へつづく

6 [タイムチャート]

〈標準〉



〈バイナリ仕様〉



※このタイムチャートにはタイムラグは含まれておりません。

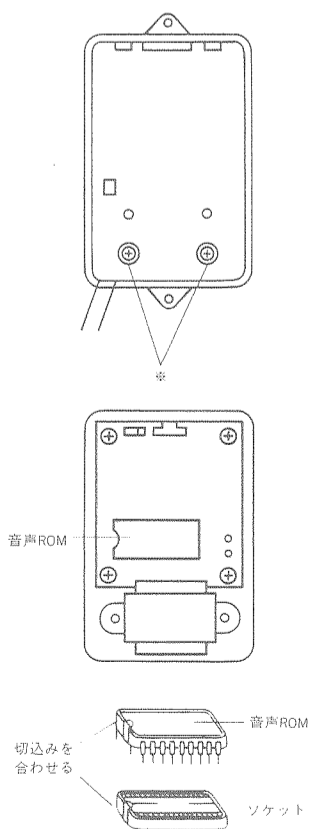
7 [音声ROM交換方法]

現在ご使用されている音声内容を変更する場合、本体内部にセットされている音声ROMを取り外し、新たに弊社にご注文された音声ROMと以下の手順に従って交換してください。

注意

- ◎音声ROM交換時は必ず電源を切ってから行なってください。
- ◎音声ROMの挿入時は方向を間違わないよう注意してください。又、ROMの足が折れ曲がりたりしないよう注意して確実に挿入してください。
- ◎音声ROMを引き抜く際、マイナスドライバー等で行う場合は基板上的パターンを切断しないよう注意してください。

- ▼本体背面の取付ねじ(右図※2本)を取外し、後蓋を取外してください。この時、後蓋側にスピーカ以外の部品(基板、電源トランス等)が取付いていますので破損しないように注意してください。
- ▼基板上的音声ROM(ソケット式)を引き抜いて交換してください。
- ▼本体を開けたのと逆の手順で元通りに組み立ててください。この時、リード線のかみ込み等のないように注意してください。



8 [定格]

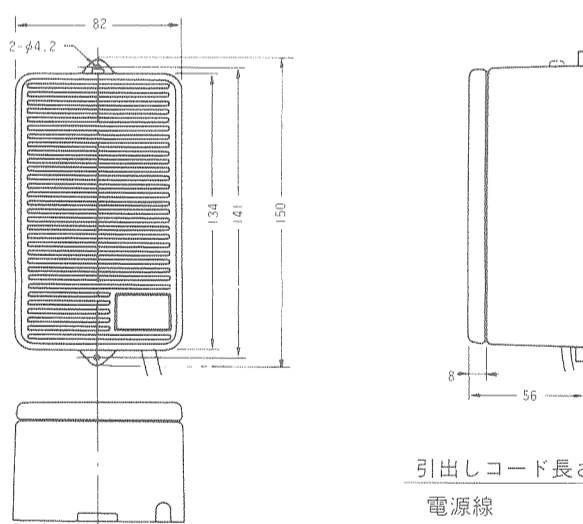
定格

定格電源電圧	AC110V 50/60Hz	AC220V 50/60Hz	AC/DC12V	AC/DC24V
使用電圧範囲	90V~120V	180V~240V	10V~14V	19V~27V
定格消費電流	70mA	35mA	AC0.35A/DC0.3A	AC0.4A/DC0.3A
定格出力	最大 1W			
音 圧	最大 85dB (1m前方)			
定格時間	連続			
構造	屋内仕様			
色 調	ホワイトグレー			
重 量	約0.6kg		約0.4kg	

音声合成部

音声合成方式	ADPCM方式
ビットレート	標準64kbit/s (32kbit/s、128kbit/sも可)
音声記憶時間	標準 合計16秒 (64kbit/s) (32kbit/sの時 32秒、128kbit/sの時 8秒)
音声制御数	4種類 (バイナリ仕様の場合 15種類 4ビット)
リモート入力回路	無電圧接点又はオープンコレクタトランジスタ DC24V10mAをスイッチングできるもの COM: マイナス
リモート入力パルス幅	100ms以上

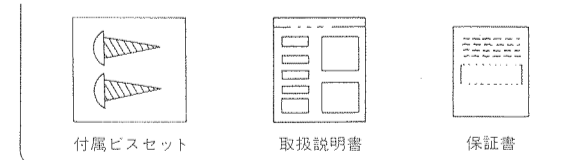
9 [外観図]



引出しコード長さ約350mm

- 電源線 VFF 0.75sq x 2c
- アース線 VSF 0.75sq
- 信号線(5本) UL1007 AWG22

付属品



アロー電子工業株式会社
ARROW ELECTRONICS IND. CO., LTD.

本 社 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東2丁目22-13
 ☎06(6961)-0351(代) FAX06(6969)-0510
 大阪営業所 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東2丁目22-18
 ☎06(6961)-0325 FAX06(6961)-1199
 東京営業所 〒153-0063 東京都目黒区目黒2-10-8-9F
 ☎03(3495)-6971 FAX03(3495)-6977
 名古屋営業所 〒465-0021 名古屋市名東区猪子石2丁目502
 ☎052(775)-7201 FAX052(775)-7202
 広島営業所 〒733-0003 広島市西区三篠町2丁目3番22号
 ☎082(239)-7254 FAX082(239)-7256
 福岡営業所 〒811-1311 福岡市南区横手4丁目20番7号
 ☎092(574)-5446 FAX092(574)-5450